

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

			千葉県		
目的			経営体数の減少、近年の生産不振によりノリの生産は減少している。また、海況の変化から防除ネットが必要となっており、生産のための海上作業負担が増加しているため、共同加工施設の導入により陸上作業の負担を軽減し、海上でのノリ生産に注力することで生産量の増加を図る。		
目標			ノリ共同加工施設の整備を通じて、漁業者の所得 ●●●千円の向上を図る	02-1	
事業実施者			新富津漁業協同組合		
実施地区			富津地区		
実施期間及び目標年度			実施期間	目標年度	
			令和2年度	令和4年度	
助成金額			198,300,000円		
事業計画の内容			乾のり製造共同加工施設整備に係る建設工事及び工事監理業務		
評価	取組の目標（KPI）		漁業所得298.9%向上		
		基準年	（平成26～30年度平均）●●●千円		
		現状値	（令和4年度末現在）●●●千円	増加率	211.9%
		目標値	（令和4年度末）●●●千円	増加率	298.9%
	成果目標		乾のり製造共同加工施設参加漁業者の所得向上率298.9%		
			現状値	●●●円	
			目標値	●●●円	
	（１）現状値の説明		共同加工施設参加漁業者所得の向上率を指標として、「所得税に係る確定申告書」を用いて計画時の現状値と目標値を算出した。 成果目標の達成状況は、計画策定時の目標値●●●千円（計画時点現状値の298.9%）に対し、目標年度の現状値は、●●●千円（計画時点現状値の211.9%）であり、目標値の56.3%となった。		
	（２）地域への経済効果		施設の整備に伴い、新たな雇用が発生したほか、生産者家族が行っていた陸上加工作業が削減されたことにより、労働環境の改善が図られた。		
	（３）所見		計画時には想定していなかった食害等による生産不振により、受益生産者の生産枚数は現状値の80%に留まったが、平均単価が151%となったこともあり、成果目標となっている漁業所得の大幅な向上が図られた。 なお、計画では行使柵数を増やすことにより増産及び所得向上を図ることとしていたが、食害対策（防除ネットの設置等）にかかる経費及び労力の増加により行使柵数を減少せざるを得ず、目標とする所得には届かなかった。		

	(4) 評価機関への意見等	
今後の改善方向等に関する分析	施設整備による陸上労働の軽減は達成されたが、食害等による不作や、その対策に係る海上作業の負担増加、行使柵数の減少等により、生産枚数が減少したため、成果目標の達成率は56.3%となった。 一方、単価の向上により、受益生産者の大幅な所得向上が図られていることから、今後も防除ネット等の食害対策を継続するとともに、県の研究機関と連携するなどして効果的な食害対策を進めることにより生産量が増加し、目標とする所得向上が図られると考えられる。	